

～京都東山数寄屋造りの本格的な純日本建築の和旅館「せいしん庵」～  
亡き父の跡を公務員を退職して一念発起した二男が事業を引継ぐ！

《代表者》 脇山 美知栄 (72歳) **【親族内承継】**  
《後継者》 脇山 康史 (36歳)

日本政策金融公庫京都支店との連携案件

## 相談者の概要と支援の経緯

▶当建物は昭和36年8月に新築され、当初、一見さんお断りの高級旅館であった。数寄屋風・茶室風といった造りの格調高い雰囲気漂う客室や樹木の美しさに、安らぎを感じる渡り廊下、香りの良さに心身共にほぐれる檜風呂を備えている。

▶その建物を脇山庸人氏が平成11年に引継ぎ、片泊まりの宿「せいしん庵」として創業、余分なサービスはせず、極上空間をリーズナブルに楽しむをコンセプトに順調に経営していた。

▶しかし令和5年2月に脇山庸人氏が逝去されたことで妻の脇山美知栄氏が代表取締役役に就任したものの1年以上休業状態となっていた。

▶その状況を憂慮した二男の脇山康史氏は勤務していた大阪府庁を退職して、将来承継することを決意した。今は代表者と一緒に再開を目指している。

▶代表者と後継予定者は再開を目指して建物や設備をリニューアルすべく資金調達を画策した。しかし休業していたことから民間金融機関からの調達には至らなかったため日本政策金融公庫に相談。その日本政策金融公庫から当センターを紹介された。

▶当センターは相談に来所した脇山美知栄氏と後継予定者の脇山康史氏の資金調達問題と事業承継の課題を解決すべく以下のアドバイスをを行った。

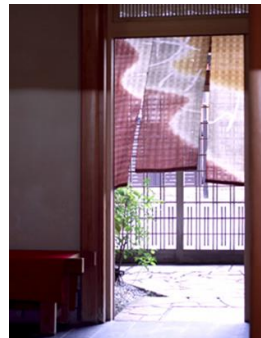
①事業承継の流れを説明

②事業承継計画策定の流れの説明と策定をアドバイス

③事業承継計画策定に当たり外部専門家派遣の説明と派遣

▶それと並行して日本政策金融公庫から改装資金や運転資金の資金調達ができて、令和6年3月にリニューアルオープンの運びとなった。

▶また、事業承継も5年後を目途に行う。後継予定者は亡父が掲げる理念と想いを尊重しながら、各種セミナーにも参加してスキルを上げつつ、新しいビジネスモデルの構築やアイデアによってさらなる成長を目指している。



中から玄関を望む



中庭



13帖 花の間



朝食

## 当センターと支援機関とのネットワーク連携

事業承継・引継ぎ支援センターでは、親族内承継や第三者承継の課題解決を図るため、京都府内企業へ事業承継に対し気づきを与え、掘起しをするため金融機関と連携を図り、事業承継案件の紹介をして頂いています。今回は日本政策金融公庫京都支店の職員が事業承継に対して高い意識を持って相談対応頂いたことが奏功しました。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター

統括責任者 宮嶋 渉

## ひとこと

本件は京都観光において大変重要な和旅館が妻と責任感の強い二男によって承継されることになったのは大変意義深いことです。亡父が掲げている理念と想いを引継いで、立派に成長されることを祈念しています。またネットワーク機関である日本政策金融公庫の事業承継の取組についても感謝申し上げます。

## 事業承継・引継ぎ支援センターの対応

- ①当社の問題の洗い出し
- ②問題の整理と課題抽出
- ③事業承継と資金調達の課題解決のための事業承継計画策定支援
- ④事業承継計画策定のための外部専門家派遣